

# 令和3年度 自己評価報告書

令和4年3月  
岐阜県立下呂看護専門学校

## 1 本校の基本理念

本校は、生命の尊厳と人間愛を基盤として、対象を思いやる豊かな人間性を育み、専門知識・技術を教授し、社会のニーズに応え得る能力を養い、安全で安心な医療を担う、専門職業人を育成します。

## 2 令和3年度組織(所属)目標及び実績

### 1)カリキュラム編成・申請・運用に向けた準備

- ①カリキュラム検討委員会（3回）
- ②カリキュラム構築のための教員による検討会（上半期2回／月、下半期2回／週）
- ③教育課程・実習施設の変更承認申請に係る書類整備（12月中旬～下旬）
- ④変更承認申請（12月下旬）→岐阜県知事承認（3月1日）
- ⑤新カリキュラム運用に向けた準備（1月～3月）

### 2)学生確保および在校生の学習・生活支援の充実

- ①ホームページの適時更新（22回／年）
- ②閲覧しやすいホームページへの様式検討・変更
- ③学生意見箱の設置と対応（6件／年）
- ④担任・副担任による個別面談（定期・適宜）
- ⑤総務課による奨学金・就学支援助成金等の説明・手続き支援
- ⑥学生生活実態調査（9月、2月）

### 3)業務マネジメントとワークライフバランスの推進

- ①時間を意識した効果的な会議・委員会運営（平均会議開催時間 59.6分）
- ②職員会議、教務会議、毎朝のミーティング時に時間外削減、年休取得推進の呼びかけ。
- ③3ヶ月毎の休暇取得計画表を用いた計画的休暇取得の推奨
  - ・年次休暇 一人平均10日2時間（目標達成率 85.1%）
  - ・夏季休暇 全員4日取得（目標達成率 100%）
- ④時間外勤務管理表を用いた時間外勤務マネジメント
  - ・時間外勤務管理表による自己マネジメント（毎月）
  - ・一人平均時間外勤務時間数（昨年度比 +2.5%）

### 3 評価項目の達成および取組状況

#### 1) 学校経営

資料 1 ~ 1 1

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のビジョンと組織目標を策定し、その目標が教職員に理解されているか。</li> <li>・組織目標に対する評価を実施し、結果を教職員に周知し次年度の目標につなげているか。</li> <li>・学校運営評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知し外部にも公表している。評価結果をもとに改善計画を策定しているか。</li> <li>・管理職のリーダーシップのもと、係長が部署をまとめ、問題解決に当たっているか。</li> </ul>	4. 7

○評価点：よい 5 ややよい 4 普通 3 やや不十分 2 不十分

- ・前年度の組織目標の評価結果を教職員に伝えるとともに、組織目標を設定する際に教職員の意見を取り入れ設定した。
- ・組織目標は職員会議で職員に周知し、組織目標を意識して業務を遂行するよう働きかけた。
- ・9月に組織目標、委員会・係活動目標等の中間評価を実施し、職員会議において評価結果について共有し、下半期の取り組みについて検討した。
- ・学校運営評価の取り組みはほぼ予定どおりに行えた。
- ・毎月、職員会議、教務会議を開催し、現状報告、課題、行事計画・評価等について共有した。

#### 【課題】

- ・組織目標、委員会・係活動目標等の達成に向け、計画に基づいた活動を行う。

#### 【対策】

- ・組織目標、委員会・係活動の目標達成のために、学校運営計画表を活用し、取り組み状況のチェック、取組み結果の共有を行う。

#### 2) 学科運営

資料 1 2 ~ 1 5

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時に持つべき資質をディプロマポリシー、教育目標に明示するとともに、卒業時の到達状況を分析しているか。</li> <li>・学習内容は教育理念・教育目標と一貫性があり時代の要請に応える内容になっているか。</li> <li>・授業計画（シラバス）が作成され教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようにしているか。</li> <li>・効果的な授業運営を図るため適切に時間割を調整しているか。</li> <li>・授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか。</li> <li>・学生の単位取得に向けた支援を実施しているか。</li> <li>・実習目標が達成されるよう実習環境が整備されているか。</li> <li>・実習指導者と教員（実習指導教員）の役割を明確にし、互いに協力し実習指</li> </ul>	3. 8

導にあたる体制があるか。 ・ 学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、評価について公平性・妥当性が保たれているか。 ・ 実習時の患者への倫理的配慮を励行しているか。 ・ 実習時のインシデント、アクシデント等を分析し学生指導に活かしているか。 ・ 学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し、授業の改善に努めているか。	3. 8
---	------

- ・ 現行の教育課程評価を行い、その結果を新カリキュラムに反映した。
- ・ 新カリキュラムには本校の強みである、外部講師・地域との良好な関係性を活かした内容を取り入れ編成した。また、旧カリキュラムにおいても一部見直しを行った。
- ・ 学生にシラバスを用いて授業のねらい、学習内容、評価方法の説明を行った。また、専任教員が担当する授業について科目評価を行い、教育内容・教育方法の検討後、次年度のシラバスに反映した。
- ・ 卒業生アンケートを実施し、卒業時の到達度の評価を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、対面授業を中心（一部オンライン授業）に各学年の講義・演習を行った。
- ・ 臨地実習は一部の実習施設において実習中止や実習時期の変更があった。実習施設の協力により、実習方法を一部変更することで実習が行えた。
- ・ 実習期間中は実習ミーティング（1回/週）を開催し、学生の指導方法等について検討した。
- ・ 新・旧カリキュラムの看護学実習要綱を作成した。「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」に基づいた技術経験録の作成に取り組み予定である。
- ・ 実習時のヒヤリハット報告書の要因分析・対策への取り組みが十分行えなかった。
- ・ 昨年度に引き続き、翌月の時間割作成は「毎月20日までに作成」を目標にしたが、講師との調整、学年間の調整などの遅れにより月末になることが多かった。

**【課題】**

- ・ 新カリキュラムと旧カリキュラムの平行運用。
- ・ 時間割の早期計画と学生への早期提示。

**【対策】**

- ・ 新・旧カリキュラムの教育計画に基づく運用と確認。
- ・ 学生への時間割発表時期は1か月前に行う。

**3)入学・卒業対策**

資料16～17

評価項目	評価点
・ より多くの応募者を確保することに努めているか。 ・ 国試の合格者が100%となるよう教職員一丸となって取り組んでいるか。 ・ 質の高い卒業生を多く輩出する為の努力を行っているか。 ・ 卒業生への支援を行っているか。	4. 1

・卒業生の県内就職率を高めるように努めているか。	
--------------------------	--

- ・ホームページの充実、学校見学会、学校説明会、進学ガイダンスへの参加等により、県内全域から受験者が確保できたが、定員確保には至らなかった。
- ・国家試験対策（学生担当制、学生国家試験係、計画的な模擬試験など）により、26名全員が国家試験に合格した。\*全国の国家試験合格率は91.3%
- ・県内就職率は96%（25/26名）だった。
- ・退学者は1名（進路変更）、休学者は3名（学業不振、進路の迷い）だった。

**【課題】**

- ・入学生の確保。
- ・国家試験の全員合格。

**【対策】**

- ・ホームページ適時更新、学校見学会等をとおり、当校の魅力をアピールし、優秀な学生を確保する。
- ・国家試験対策担当を中心に、全員合格に向けた取り組みの継続。

**4) 学生生活への支援**

資料18～21

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学、就職などの進路に関して学生の相談に十分応じているか。</li> <li>・経済的、精神的側面からの学業継続支援体制が整い、効果的に活用しているか。</li> <li>・学生の身体的側面の健康確保に努めているか。</li> <li>・サークル活動などの学生の自主的な活動を支援しているか。</li> </ul>	3.5

- ・昨年度実施できなかった「卒業生と語る会」を12月に実施し、在校生全員から肯定的な反応が得られた。
- ・学生生活実態調査を2回（9月・2月）実施し、学生の実態調査を行い、教職員で結果の共有と対策の検討を行った。
- ・学生の経済的支援（授業料減免、学生支援給付金等）について、総務課が学生への情報提供や手続きの説明等を行った。
- ・学校医の指導のもと、ワクチン接種に対する指導、新型コロナ抗原簡易キットを用いた検査を実施した。
- ・「心の相談室」を計画し、6名/年が利用した。
- ・学生自治会活動は感染対策に考慮しながら活動した。9月には球技大会を変更し、学内でレクリエーション大会を実施し学生が楽しんだ。

**【課題】**

- ・卒業生と語る会の継続。
- ・経済的支援を要する学生の把握・支援の継続。

**【対策】**

- ・卒業生と語る会開催（12月）

- ・面談結果・各種アンケート結果を教務係・総務課と共有し、学習支援、経済的支援を要する学生への支援を行う。

## 5)教職員の育成

資料 2 2 ~ 2 4

評 価 項 目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の抱えている課題をふまえた職場内研修を行っているか。</li> <li>・学会又は研修等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか。</li> <li>・教員が計画的に臨床実務研修に参加できるよう支援しているか。</li> <li>・教員の授業を他の教員が参観、講評できる体制を整えているか。</li> <li>・教員が計画的に研究調査活動を行えるよう体制を整えているか。</li> </ul>	3. 2

- ・職場の課題について職員会議での職場内研修を行った。
- ・教員全員が目的に応じた研修に参加した。
- ・研修後の成果・学びの報告は文書回覧が多く、伝達講習会が効果的に実施できなかった。
- ・担当領域が変更になった精神看護学担当教員が精神病院の臨床実務研修に参加した。
- ・授業参観を受けた教員の割合は 100%、授業参観した教員は 87.5%だった。

### 【課題】

- ・研修後の伝達講習会の計画・実施。
- ・新カリキュラム運用に向け、教員の臨床実務研修が必要となる。
- ・授業参観の継続。

### 【対策】

- ・学会・研修等の成果の共有を目的に、計画的に伝達講習会を行う。
- ・新カリキュラムで追加となる実習施設への実務研修の計画。
- ・専任教員の授業研究（2例）・授業参観（一人2回／年）の実施。

## 6)管理運営・財政

資料 2 5 ~ 2 6

評 価 項 目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算計画、年間行事計画を策定し適正な予算の執行・進行管理を行っているか。</li> <li>・学生や教職員等の人権・個人情報について十分な対策がなされているか。また、学生、教職員に対しそれらの徹底を図っているか。</li> <li>・災害など非常時の危機管理体制が整備されているか。また、防犯・交通安全意識の向上に努めているか。</li> <li>・学校運営に学生の意見が反映されるように努めているか。</li> </ul>	4. 3

- ・予算策定、予算執行は計画的に行った。
- ・年間を通し、学生・職員に対して危機管理の取り組みを行った。
- ・昨年度の個人情報の紛失事故（学生の成績査定表紛失）を教訓に、再発予防に取り組んだ。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策の環境が充実した。
- ・同窓会の寄附物品により、学習環境が改善された。

**【課題】**

- ・危機管理（情報管理、災害対策等）に対する意識の向上と対策の周知。

**【対策】**

- ・各種マニュアルの見直しと遵守。
- ・防災・防犯に関する訓練・講習会を計画的な実施。

**7)施設設備**

資料 27～30

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の安心・安全が確保されているとともに障害者の利用に配慮された構造になっているか。</li> <li>・教育目標達成に必要な施設設備及び教材が整っているか。また、学生の自主的な学習の場が確保されているか。</li> <li>・学生のための福利厚生施設・設備は整っているか。</li> <li>・図書室は利用しやすく学生に十分活用されているか。</li> <li>・実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品設備が整い十分にその機能を果たしているか。</li> </ul>	3.5

- ・施設の老朽化については、計画的に予算化と修繕を行っている。
- ・和式トイレの洋式化は令和4年度設計、5年度着工予定である。
- ・学生のための食堂・休憩室、個別面談室などの整備は令和4年度設計、令和5年度着工予定である。
- ・整備されたICT機器の活用に向け、マニュアル作成や活用推進に向けた取り組みを行った。
- ・図書および教材は年度計画に基づき、計画的に整備している。

**【課題】**

- ・校舎、設備の老朽化が著しい。
- ・ICT機器の有効活用。

**【対策】**

- ・計画的に施設・設備の整備を行う。
- ・ICT機器活用マニュアルの整備と活用機会の拡充。

**8)広報・社会貢献・地域活動**

資料 31

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の存在を周知するためホームページ、携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしている。</li> <li>・地域社会の一員として、地域への広報・貢献・奉仕活動・連携の工夫を行っているか。</li> </ul>	4.1

- ・年間を通し、ホームページの更新、閲覧しやすいデザインの工夫を行った。
- ・感染予防対策を講じたうえで、ボランティア活動を行った。

- ・ 出前授業の申し込みはなかった。

**【課題】**

- ・ 地域ボランティア活動の制限。

**【対策】**

- ・ ボランティア活動、出前授業等の取り組みを継続。

**9)独自項目(寄宿舍)**

資料32～33

評価項目	評価点
・ 寄宿舍の施設・設備は安全・安心が確保され、学業に専念できる生活環境であるか。	4.4

- ・ 感染対策として完全個室化（45室）とした。
- ・ 寮生活における感染対策徹底により、感染者の発生、クラスター発生はなかった。
- ・ 12月、3月に防災訓練を実施した。
- ・ 8月集中豪雨時、在寮生（3年生10名）が下呂温泉病院に避難し被害はなかった。
- ・ 夏季休業中に寄宿舍の空調設備の改修を終えた。
- ・ 寄宿舍生活に対する意識調査では1年生の「不満足」の割合が高く、3年生の「満足」の割合が高かった。寄宿舍の生活に徐々に適応している様子が伺えた。

**【課題】**

- ・ 寄宿舍における感染予防対策の徹底。
- ・ 防災意識の向上と安全確保。

**【対策】**

- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策を継続。
- ・ 寄宿舍の防災訓練計画。

※ 本書では、各評価項目欄の右肩記載の資料（1～33）の添付を省略しております。